

# カリフォルニア スタイル

## CALIFORNIA STYLE

Lightning

2022年9月号増刊



とびきりメロウな体験を  
旧くて新しい街エンシニータスで。

いつでも僕たちを  
West Coastに連れて行ってくれる  
山下 達郎ディスコグラフィ。

# Cool Escapes

コージーな空間がそこにある。

カリフォルニア厳選ブティックホテル。

カリフォルニアで人気の  
ベスト携帯アプリ47!

新しいテイストが続々登場!  
進化を続けるサンドイッチ。

初公開!!  
Apple本社ビル。

カリフォルニアMOTOスタイル。



白いファームハウススタイルの壁にはグリーンが似合う。ハンドライティング風の看板が出迎えてくれる。部屋も明るく過ごしやすい

再構築されたモダンカリフォルニアロッジらしさを構成するインテリア。近年人気のデザインが隅々まで行き渡っている

*Cool Escapes* (2) California Hotels

# SAN LUIS CREEK LODGE

Special Thanks to SAN LUIS CREEK LODGE  
[sanluiscreeklodge.com](http://sanluiscreeklodge.com)

Photos / Jonny Valiant, Jessica Alexander, Shade Degges

ボヘミアンスタイルのインテリアが素敵な小ぶりなレセプションエリアは、サイズ感からまるでおしゃれな友人宅に来たかの様だ





一軒家サイズの建物4棟から成るこのロッジ。一棟一棟はまるで個人宅の様だ。こんな家に住んでみたいという憧れが実現できるのかもしれない。ロビーや各部屋にはブロックショップのアートが飾られている

セントラル・カリフォルニアを代表する街の一つ、サンルイス・オビスポ。通称SLO(スロー)と呼ばれるこの街には、あらゆる技術系の教育に特化したカリキュラムを持つ州立大学キャリボリーがある事から学生も多い街。さらにロサンジェルスからもクルマで3時間の距離と、週末のパケーションに向かうにはちょうど良い距離感で、古くから有名なホテルや多数のモーターがある場所だ。そんなSLOのメインストリートで以前から営業を続けていたサンルイス・クリーク・ロッジが、大規模なリノベーションを経て、再オープンした。

SLOのダウンタウンを南北に走るモントレー・ストリートに面して建つリモデリングされたサンルイス・クリーク・ロッジは、周囲に残るオーセンティックなモーターと比較すれば、一目で質の高い空間を提供してくれる宿泊施設である事が分かる。白い壁にダークグレーの屋根、壁から飛び出した梁をブラックで仕



セージグリーンのバスルームが上品且つ落ち着く空間を演出。バスアメニティはイソップのものが用意されている

上げたスタイルは、現在人気のファームハウスをテーマとしたものだ。品の良いサインや照明器具なども、その質感の高さの演出に一役買っている事は言うまでもない。

エントランスに入るとボヘミアンスタ

イルで仕上げられたレセプションが目に飛び込んでくる。この建物

以外にも3つのカリフォルニアの伝統的なファームハウスをイメージして建てられた宿泊棟があり、それらも基本的にはブラック&ホワイトのスッキリした外観で仕上げられる。それぞれのエクステリアを見ただけでも、ここが最新の感覚で



部屋は基本的にモノトーンで統一されているが、ベッドのヘッドボードや籠などの編み素材が雰囲気に柔らかさを加えている

## 質感の高いアートに囲まれ自分をリチャージできるホテル

リノベーションされた宿泊施設である事は、誰もが簡単に理解できる。

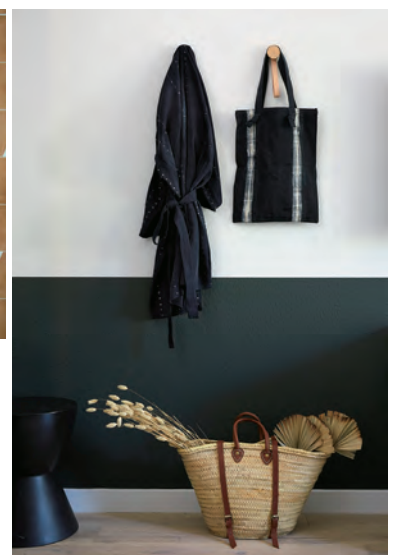
ゲストルームはいくつかの種類があるが、全ての部屋はモノトーンをベースにベージュやセージグリーンなどのアースカラーが差し色として使われている程度で、ロジ全体から優しさと安らぎに包まれた空気感を感じる事ができる。またレセプションから各ゲストルームまで、統一したトーンが感じられる理由は、部屋のデザインやカラーチョイスだけでは



ローカルのHONEYCOのコーヒーと様々なベスリーのサービスもある

ない。あらゆる場所にLAを中心に活躍するブロックショップのアートワークが配されているため、どの空間も強い結びつきを感じる仕上げとなっているのだ。

4つのタイプのゲストルームは平均すると30㎡程度の広さを持つ。都会を離れてリラックスタイムを過ごすためには、十分な広さと言えよう。ミニバーに備えられるスナックやドリンク、清潔感の漂うバスルームに置かれているアメニティグッズなど、さらりと人気ブランドのアイテムで揃えているところも、ゲストには嬉しい配慮だ。サンルイス・クリーク・ロジ、ここは自分を取り戻す都会からのエスケープ・トリップには、最適な場所と言って間違いないだろう。



広めのウォークインシャワーにはカスタムセメントタイルが使われている。小物ひとつとってもセンスが光る